

さくら小学校 ワークショップ ニュース



(平成 29 年 7 月発行)



「学習支援と地域交流スペース」、「未来に向けたこれからの学習環境（教室まわり）」をテーマに話し合いました！

4 月から始まった、平成 33 年 4 月供用開始予定である「さくら小学校（三郷小学校・橋波小学校統合校）」の新校舎建設に向けた設計のワークショップは中盤を迎えています。今回、統合校連絡会ワークショップでは「学習支援の活動とあり方」、教職員連絡会ワークショップでは、『未来へ向けたこれからの学習環境を考える』教室（普通教室・特別教室）まわりの活動について～オープンスペースと教室の連携活用～をテーマに、オープンスペースの使い方や、教室との連携活用方法などについて、いろいろなアイデアを出し合いました。当日の意見は次のページをご参照ください！

次回のワークショップは両会ともに 7 月に行われます。



ワークショップ 今後の予定

地域編、学校編に分かれてワークショップを行い、基本設計をとりまとめる予定です。

4 月	5 月	6 月	7 月
地域編① (4/19)	地域編② (5/8)	地域編③ (6/22)	地域編④ (7/7)
	学校編① (5/16)	学校編② (6/12)	学校編③ (7月中旬)

最終回

基本設計（案）の報告会

統合校連絡会ワークショップでは、こんな意見がありました！ 「学習支援の活動とあり方、地域交流スペースのあり方について」

主なアイデア

① アクティブコア（ICT ホールまわり）でキャリア教育、人気の職業紹介

- キャリア教育への支援ということで、地元の企業の方から、「なぜ学ぶか」を伝えてもらう。
- アクティブコア周辺でプログラマー、公務員など様々な職業を紹介する。
- 特別教室やラボで、キャリア教育につながる活動を行う。
- 各所で展示やプログラムが行われ、休み時間に子どもたちが主体的にやりたいことを選択できたらよい。
- アクティブコアまわりでは国際理解、国際交流の活動ができそう。

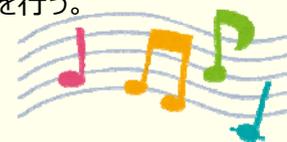
② 地域の方が子どもたちに教える・伝える・交流する

- プレゼン方法やプログラミング等、学校のカリキュラムにはない実践的な技術を地域の方が教える。
- 理科ラボ周辺で「宇宙の話」「恐竜の模型づくり」「生き物のお世話や育て方についての実験」等、地域の方が子どもたちに科学のおもしろさを伝える。
- 英語、ミンソ、調理実習、木工並びに焼き物など地域の方が先生をサポートする。
- 家庭科ラボ周辺で、みんなで育てた守口大根を PTA や地域の方々の協力を得て調理し、みんなで食べる！
- 植物や生き物を育てるコーナーを設け、生命の大切さを感じてもらう。
- 囲碁、将棋並びに昔遊び等、地域の方の趣味や特技を子ども達に教える。
- 地域の方の今月のオススメ本コーナーをつくる！



③ 本の読み聞かせ・自主学習を支援

- ICT ライブラリーや ICT ホールの階段を使って、図書ボランティアによる本の読み聞かせを行う。
- 放課後自習塾等の自主学習を支援する。



④ 音楽発表会を多様に行う

- 内容や規模に応じて、体育館だけではなく ICT ホールや、音楽室、芸術ラボ並びにデッキ広場などいろいろな場所で、頻繁に音楽発表会を行う。

⑤ 子どもたちの健康や食育、悩みを支援

- 子どもたちが毎日使うランチルームにお米の大切さ、おはしやお茶碗の使い方、食事のマナー、世界の食事などを伝える食育ギャラリーを設ける。
- 朝食を食べない子どもが増えているため、地域の活動として朝食を提供することができたらよいのではないかと。
- いろいろなコーナーにスクールカウンセラーがいて、いじめのことなど悩みを相談するコーナーがあるとよい。

⑥ 環境ボランティアと児童との交流を工夫する、屋外での活動を盛り上げる

- 環境ボランティアは、週末に活動することが多く、子どもたちに活動が知られていないので、「環境ボランティアベース（拠点）」を設けて、児童との自然な交流を生み出す。
- 地域のスポーツが得意な人、プロ選手などが先生になるスポーツ講座「わくわくスポーツ講座」を行う。
- 「親子カーニバル」を屋外と ICT ホール等を活用し、盛大に実施する。

⑦ 地域交流スペースの使い方

- 地域の歴史に詳しいおじいさんなどが、地域の歴史を語り、子どもたちに伝える。
- 地域の会合等にも使うことができる場所が、入り口付近にあると利用しやすい。

教職員連絡会ワークショップでは、こんな意見がありました！ 「未来へ向けたこれからの学習環境を考える」②教室（普通教室・特別教室）まわりの活動について ～ オープンスペースと教室の連携活用 ～

主なアイデア

① オープンスペースは、調べ学習に活用したい

- オープンスペースに PC や本、LAN を司書さんと連携して充実させ、調べ学習や発表に活用したい。
- 調べ学習の途中のものも掲示して、子どもどうしが進捗状況がわかるようにしたい。
- 図工や調べ学習で、完成作品の掲示だけではなく、途中のものも掲示できたら、お互いのグループどうしで、こんな方法やあんな方法もあると学ぶことができる。そして、「あんなことしたい、こんなことしたい！」につながる。

② オープンスペースは、大きくも小さくも、変幻自在に使えるようにしたい

- 八角形の机やどこでも書けるパーテーション、ホワイトボード等、グループ学習がしやすい設備を備えたい。
- 模造紙を広げられる、またはすきまなく結合できるテーブルや使い勝手をよくするための収納がほしい。
- すぐにグループ活動ができたり、お互いの作品を見せあっこしたり、児童の思いでこのスペースがアクティブスペースにデザインされていくとよい。そのためには「子ども自身が動かせる」ような可動式家具などの設備も大切である。
- 間仕切建具を開け、一つのホールとして使えるようにできるとよい。教室に響かないよう防音は大切である。
- オープンスペースで学年集会や学年全体での総合的な学習や発表会を行い、多学年の発表を同時にできるとよい。

③ オープンスペースは、展示・掲示スペースとして活用したい

- 1～6年生のノートが見られるスペースがあるとよい。「こんな勉強しているんだ！」と他の学年の学びが見えることは大切である。
- 子どもたち自身で展示ができるよう工夫してほしい。
- 展示を通じて、学年内、異学年間での交流、ふれあいの場として活用したい。
- 図工の作品など、子どもたちが制作途中の作品をおくスペースがあれば、休み時間に作業できる。「こんな作品や、こんなアイデアがあるんだ！」と、自然と交流の場にもなる。



④ ICT を教室まわりで活用できるようにしたい

- 教室の電子黒板などを活用して、子どものノートを映してみんな見えるようにしたい。
- 例えば、逆上がり動画をみて、研究し、すぐに逆上がりの練習ができたりしたらよい。
- 黒板と電子黒板と組み合わせて使えるようにしてほしい。



⑤ その他の工夫

- オープンな教室にもできるし、音をさえぎる（防音）静かな教室にもできる設計がよい。
- バルコニーは教室や廊下と一体的に使えるようにできたらよい。
- 教室の黒板の位置は、児童が落ちついて学習できるように、オープンスペースとの向きも考慮した位置としたい。
- 学年としてのまとまりやつながりを大切にしたつくりにしてほしい。
- オープンスペースは雨の日の学年間交流や、学級交流スペースとして使う。雨の日の遊び用スペースにもなればよい。
- 先生コーナーから、教室とオープンスペースの両方が見える方がよい。
- 理科で育てるメダカの水槽やチョウの虫カゴを置いて生活の中で毎日観察できたら良い。
- 手洗いコーナーを大きく使いやすいようにしたい。バルコニーにあってもよい。はみがきスペースがあるとよい。
- クールダウンできるスペースが教室の近くにあるとすぐに戻ることができるからよい。



新しい「さくら小学校」づくりワークショップ ワークショップの様子をご紹介します！

☆ 三郷小学校と橋波小学校の混合チームで意見交換を行いました ☆

<統合校連絡会編>

テーマ 「学習支援の活動とあり方」
第3回 平成29年6月22日(木)



<教職員連絡会編>

テーマ 「未来へ向けたこれからの学習環境を考える」
②教室(普通教室・特別教室)まわりの活動について～オープンスペースと教室の連携活用～
第2回 平成29年6月12日(月)

